

事前のお知らせ



なくなっていく!? 東京の財産・・・

“個人庭”からみどりのある暮らしを伝えるお庭めぐり

「～茶・庭・菓をめぐるちっちゃい旅～ちやい旅 2017・秋」を開催

とき 11月12日(日) 午前10時～午後4時

ところ 大泉学園町6・7丁目 西武池袋線 **大泉学園駅**からバスで15分 他
(総合案内(マップ配布): 大泉風致地区バス停前【大泉学園町6-18-44】 ※当日のみ)

12日、みどりのまちづくりセンター(所長: 小場瀬 令二)は、学園のない学園都市「大泉学園町」の6・7丁目で「ちやい旅 2017・秋」を開催する。

大泉学園町に庭をお持ち方が、「まちにみどりのある暮らしの楽しみ」を伝えようと実施したオープンガーデンをきっかけに、地域で庭をお持ちの方々や地域の住民の賛同を得て拡がり、今回で5回目の開催。

総合案内で配布するマップに掲載の15か所(路上から含む)の個人庭を巡れるほか、**個人庭では、和菓子づくり体験に参加したり、ガラス展を愛でたり、コーヒーを味わえる**など様々なイベントも同時開催。

担当者は、「日常的に触れることのできる“小さなみどり”を守り活かしていくことを考える機会にしてほしい」と話している。

【主催: みどりのまちづくりセンター、学園町ちやい旅・ガーデンプロジェクト】



▲ポスター

【イベント概要】

- ① 日 時: 11月12日(日) 午前10時～午後4時
- ② 場 所: 大泉学園町6・7丁目
- ③ 内 容: 大泉風致地区バス停前の総合案内でマップを入手し、15か所の個人の庭(路上から含む)を巡れる。各庭のイベント詳細は、別添資料のとおり。



▲イベントマップ

【参考】大泉学園町の歴史および特徴

1924年から学園都市構想に基づいて開発された大泉学園町。当初区画300坪、建ぺい率20%というみどり豊かな住宅地が形成され、1933年に風致地区が指定された。時代が進むにつれ土地は細分化していくが、現在でも、格子状の道のところどころに大きな緑が残っている。沿道にセンスの良いミニガーデンをしつらえるなど、花やみどりで歩く人を迎え入れる風景は魅力的。また、スイーツ店やクリエイターの方々とみどりが織りなす暮らしは、大泉学園町ならではの。



▲庭イメージ

【問合せ先】 (公財) 練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター 電話: 03-3993-5451